

令和2年度第12回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年11月25日(水) 午後3時30分～午後5時30分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 鴻野弘志
職務代理者 五十嵐紀子 合宿の里統括監 三上正洋
委員 馬場千晶 学校教育課長 須藤友章
委員 加藤洋之 社会教育課長 武山鉄也
委員 山田敦久

4. 議件(発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長

前回、11月2日の会議から20日あまりの間に大きく状況が変わった。新型コロナウイルスへの対応について、11月7日には、北海道が警戒ステージを3に引き上げた。しかし、本市を含めた当圏域では陽性者が発生していないため、当面は様子を見て、学校の行動基準レベル引上げは行わないこととした。一方で、警戒ステージの引上げに伴って、行動基準レベル引上げを行った自治体もあった。行動基準レベルが上がることにより児童・生徒に対する制約が増えてしまうため、引上げについては慎重に検討してきた。こうしたなかで、指針を読み込むと、レベル2になっても、例えば柔道のように接触する種目を絶対に行ってはならない訳ではなく、また、児童・生徒の体調確認を玄関内などで行っている学校もある状況を確認し、本市では11月11日から行動基準レベル2に移行した。すでにご承知のとおり、本市でも陽性者が発生した。学校における対応などについては、後ほど部長から説明する。

12月からあさひサンライズホールの自主企画事業を再開する予定だったが、昨日の時点で、落語とジャズライブは、ともに中止せざるを得ないと判断した。今朝の北海道新聞では北斗市の成人式、美瑛町の宮様スキーマラソンが中止になったとの記事が掲載されていた。また、伊達市では4月に開催予定だったハーフマラソン大会を中止するとの報道もされている。本市で初めてコロナウイルスの影響で中止したイベントは、本年2月のピヒカラ歩くスキー大会であり、開催の2日前に判断した。現在のところ、来年のオリンピック・パラリンピックは開催する方針が示されている。本市では、工夫をこらしながら成人式を開催する予定。これまでは入場者の制限を行っていなかったが、今回は出席を希望する場合、往復はがきで申込みをしてもらい、対象者1人につき家族など2人まで入場可能とする。なお、式のアトラクションについては検討中である。

児童・生徒の作品展については、先々週から来週までの開催となっている。土曜子ども文化村で製作した油絵も展示されている。子どもたちの様々な作品を見てもらう機会を提供することができ、開催してよかったと考えている。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第24号 令和2年度士別市教育委員会生涯学習部の運営方針については、士別市の方針として、教育委員会が主体的に示さなければならないことであり、今後、士別市財政健全化実行計画が策定され、

その推進が図られることから、更に一歩進めなければならない。事務局から説明を求める。

○鴻野部長

部の運営方針を示しての取組については、平成30年度から市全体で同様に取り組んでいる。令和2年度の教育委員会関係分は6本あり、その全てが複数年に亘り実施するものである。このうち、社会教育のあり方と施設整備の検討については、博物館の効率的な開館や、図書館、生涯学習情報センター、文化センターなどの休館日の設定などについて検討するもの。すでに廃止したつくも青少年の家も、この方針に沿って検討した。また、スキー場のあり方については、これまでの経過もあり、今後の方向性を検討せざるを得ないところである。

○中峰教育長

各部として取り組むべきことではあるが、トップダウンでやらざるを得ないこともある。社会教育施設の開館日数は、元々、休館日が決まっていたものを、市民サービス向上のため年末だけ休館することになったもの。しかし、施設の維持経費などを見直すなかで、再び検討しなければならなくなった。スキー場については、合併した時から「いつかは…」と考えられてきたが、施設の性格や利用のされ方にも違いがあり、一方では、アルペンスキーで優秀な人材を輩出してきた実績もある。しかし、市全体の中で施設のあり方が求められ、検討を進めなければならない。

これまで委員の皆さんにお示ししていなかったが、ご意見をいただき、場合によっては総合教育会議で市長と意見交換を行うことも検討したい。

(別紙資料に基づき検討状況を説明)

○五十嵐職務代理者

学校の施設整備と適正配置の推進には、①、②という番号が付されているが、それぞれ学校に対応しているということか。

○鴻野部長

その通り。

○五十嵐職務代理者

しかし、整合がとれていない項目も散見される。全て番号を付してあるとわかりやすい。初めて運営方針を見たが、現在の状況や、今後も引き続き検討していくことなのだと理解できる部分もある。

○中峰教育長

教育委員会としての立場のほか、市全体として見直しが必要であることなど、両面性があって辛いところでもある。発展的に考えるためにも、情報共有させていただく。

○山田委員

この場で意見を求められても厳しい。総合教育会議の時に、市長から苦渋の決断との話があった。ギリギリの状況にあるのか、余裕があるのかによって考え方が違う。贅沢かもしれないが、あるべき姿で置いておいてもらいたいと思う。

○中峰教育長

財政課主導のもとに「事業アセスメント」も実施されているが、あまり成果があがっていないとの見方もある。財政健全化のため一歩踏み込んで「最適化」を進めるための方策が必要になる。何を守るか取捨選択が必要ということも考えていくことが必要である。

○五十嵐職務代理者

まちづくりは教育が基本だと考える。そこが細くなってしまうのは残念なことである。

○山田委員

できることなら先延ばしにしたい気持ちだが、それは難しいのか。教育委員会の枠を超えた大きな事

だと感じる。無くす、削るありきになってしまうと厳しい。

○加藤委員

子どもの研修などは削減の対象外であり、GIGAスクール構想などによってICTの整備も進んでいるが、子どもたちが能動的に学ぶアクティブラーニングの機会が減ってしまうのではないかと感じる。コロナウイルスのせいもあるが、部活動についても選択肢が減っている状況である。最終的には人生経験の乏しさが表れてしまう。国がそのような状況を作っているのではと感じる。ホストタウン事業は、子どもたちが一流選手を目の当たりにし、憧れる機会になると思っていたが、コロナのために事業が縮小されそうで残念である。朝日中の校舎も老朽化が進んでいる。良い整備方法はないか。

○山田委員

妥協できる部分は我慢し、必要な部分は整備しなければ。

○中峰教育長

糸小、朝中の両PTA役員には生徒数の推計見込みについても説明したが、今後、転入して来る可能性もあるとの意見もいただいた。期せずして役員に移住者の方が含まれていた。学校を維持していくために、どう残していくか検討が必要。一方で多寄地区は保護者の前向きな検討、協議のもとで統合を選択した経過がある。必要な情報を提供し、子どものため何が一番かを考えて、保護者に選んでもらうことも大切である。改修したが数年で使用しなくなるということにはできない。現在の場所では地理的に他の用途として活用することが難しい状況がある。

○山田委員

学童保育は「まなべーる」で開設しているが、農業者トレーニングセンターの休憩スペースなどを活用することができないか。知恵と工夫で持続させていかなければならない。スキー場については、圧雪車やリフトなど経費がかかる施設であり、未来永劫あるとは考えにくい、残していける方法があればと思う。

○中峰教育長

残したい思いは一緒だが、今のままの形を維持していくのは限界であり、どういう方向で考えていくか。土曜子ども文化村の取り組みは、地域の方の力を借りて実施してきたが、これまで少し頑張りすぎだった。回数は減少するが、なくすつもりはない。博物館について、施設を残すためにも、休館など持続させる可能性を考える必要がある。基本的に、方針についてはよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第25号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○須藤課長

今月の初めから新型コロナウイルスによる感染が拡大し、11月10日から出発する予定だった士別小学校の修学旅行を延期せざるを得なくなった。直前のキャンセルとなり、契約した旅行会社から、旅行経費の3割を「キャンセル料」として請求される見込みである。修学旅行のキャンセル料は、地方創生臨時交付金の対象事業であることから、第4回定例会に上程する。

○三上統括監

本年は新型コロナウイルスの影響により、合宿の入り込み数も減少している。来年は安心して本市に来てもらえるよう、合宿常連のチームに士別産農産物を提供しPRするもの。来年1月に、米、じゃがいも、玉ねぎなどを発送する予定。この時期は暖かい場所で合宿を行っていることが想定されるため、発送先を検討中である。

○中峰教育長

合宿先ではすでに食材を調達していると思うので、寮などに送るべきではないか。

○五十嵐職務代理者

土別のおいしい米を食べてもらいたい。

○加藤委員

学校のトイレ改修や網戸設置の進捗状況は。

○須藤課長

完了したものもあるが、多くは冬休み中に行う予定。

○加藤委員

コロナ対策のため教室を換気しているので、とても寒いと聞いている。

○中峰教育長

これまで例示されていた換気方法以外に、「二段階方式」など別な方法も示されてきた。これからコロナウイルスの感染が拡大し、北海道内が一律でステージ4になるようなことがあると、土別小学校の修学旅行も実施が危ぶまれる。感染者の少ない地域に向かう行程ではあるが、懸念している保護者もいるようだ。一方では何とか修学旅行に行かせてやりたいという話も多々ある。

2 その他について

(1) 新型コロナウイルス感染症の対応について

○鴻野部長

上土別中学校の教員の「陽性」が判明し、教育委員会から報道発表した。本市では市の施設において感染者が発生した場合、本人の同意のもと独自に公表している。そのため、北海道の発表と一致しない場合もある。(別紙資料を基に説明)

○中峰教育長

濃厚接触者と判断される基準については、マスク着用の有無と距離、対面時間など、その状況によって違うようだ。校長会では、冬休みを5日短縮する予定としていたが、各学校の授業時数などを鑑み、2日の短縮に変更する判断を下している。現在のところ、冬休みの期間について再変更する予定はない。

市の施設には「北海道コロナ通知システム」のQRコードを掲示している。このシステムは、利用者がスマートフォンでQRコードを読み込み、メールアドレスを登録しておけば、同じ日に施設を利用した人から感染者が発生した場合、北海道からメールで通知が受け取れるというもの。ただし、サークルとしての活動で施設を利用した場合は対象とならず、あくまでも不特定多数の利用者と接触した場合に限られるようだ。

誰がいつ感染しているかわからず、いつ、どこで感染していても不思議ではない状況であり、自分が感染を広げてしまう可能性すらある。お互いに気をつけるしかない。

○加藤委員

児童・生徒の間で誹謗中傷を受けた事例などはあるのか。

○中峰教育長

教育委員会に直接報告があったものではないが、1件、間接的に、子どもが嫌な思いをしたとの情報を聞いている。SNSには虚実入り混じった情報が飛び交い、改めて恐ろしさを感じる。

(2) 令和3年度教育委員会関連予算について

○中峰教育長

教育委員会関係で令和3年度に予算要求する予定の事業などについて、各担当から説明を求める。

(別紙資料を基に、須藤課長・武山課長・三上統括監から説明)

○中峰教育長

各担当からピックアップした項目について説明したが、これ以外に政策・経常経費ともに一律で5パーセントカットを求められているが、業務委託に関しては10パーセントカットが求められている。

かなり厳しい予算編成であり、新規事業を始める場合は、事業を一つ終わらせるよう指示もでている。補助金についても一律カットの方針であり、副市長が相手方に出向いて説明しているケースもある。

我慢して先送りが可能なものは、そのように対応するが、一方で、どうしても必要な経費については、精査のうえでしっかりと要求していく。予算要求にあたり、市長に求めることなどあれば総合教育会議で協議していきたい。なお、前回の総合教育会議で、財政健全化実行計画の考え方などは市長から示されているところ。

担当から説明したとおり、全道の障がい者スポーツ大会の受け入れを検討している。受け入れるには、財政的な負担、スタッフの対応、合宿時期の調整などの課題がある。

○五十嵐職務代理者

開催時期はいつ頃なのか。

○中峰教育長

来年の9月か10月に開催予定である。この時期であれば、夏期の合宿もほぼ終了している。競技種目は6つあり、本市を含む4市町で分散開催する予定。本市では陸上と車いすバスケットボール、剣淵町ではソフトボール、美深町ではバスケットボール、名寄市ではサッカーが決定しているが、フットベースボールについては開催地が決まっていない。

○中峰教育長

図書館で要求する予定の「児童向け総合百科事典」とはどのようなものか。

○須藤課長

学校図書室にも整備しているが、来年には改訂版が出る予定とのこと。

○馬場委員

何年くらいで改訂されるのか。

○武山課長

10年と聞いている。

○加藤委員

中学生は何でもタブレットでの検索もしている。

○山田委員

GIGAスクールも始まるので、子どもたちには改めてSNSの利用について指導しなければならない。

○加藤委員

ネットリテラシーの状況がどんどん見えてくる。消費者協会主催の講習会に参加できず残念だった。理解が不足している教師もいるようだ。問題が起きてからでは遅いと思っている。

○中峰教育長

学校ごとに講習会を開催している場合もある。昨年は広く一般向けの講習会をいぶきの地階を会場に開催した。それぞれの立場や視点があり、家庭で考え方が浸透していないと感じる。保護者が自由に使用しており、フィルタリングの重要性も理解されていないのではないかと。

○加藤委員

一度だけではなく、何度もやらなければ身につかない。

○中峰教育長

身近に起こった事件などをリアルな事例として紹介したいが、プライバシーを配慮すると広めることができない。

○加藤委員

恐怖を煽る訳ではないが、知らせなければならない。教師も理解しなければ。

○五十嵐職務代理者

図書館の蔵書について市民からリクエストを受け付けているが、要望全てに応えているのか。

○中峰教育長

全てには応えていない。司書が購入するものを検討している。

○五十嵐職務代理者

どのくらいのリクエストがあるのか。

○中峰教育長

次回の会議で回答させていただきたい。

(3) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明

午後5時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章